(証券コード:3447)

## 2019年3月期決算 補足資料

(2019年5月23日)







## トピックス①:東証・名証第1部上場

#### 2019年3月20日 市場第一部へ上場





株主の皆様をはじめ、関係者の皆様の 温かいご支援、ご協力の賜物と心より 感謝申し上げます。

今後も、持続的な成長と企業価値・株 主価値の最大化を目指してまいりますの で、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を 賜りますよう、お願い申し上げます。



### 機材センター 3カ所新規開設



配送コストの削減 配送時間の短縮 により、お客様への 利便性向上に 寄与



#### 『ものづくりの街』愛知の中心地に物流機器部門の拠点を新設

#### 物流機器部門の特長

自動車産業、電器・化学・農業・倉庫など 幅広い顧客から産業用の専用物流機器を 営業から設計・製造まで一気通貫で行う。

セールス & エンジニアリング 機能の強化



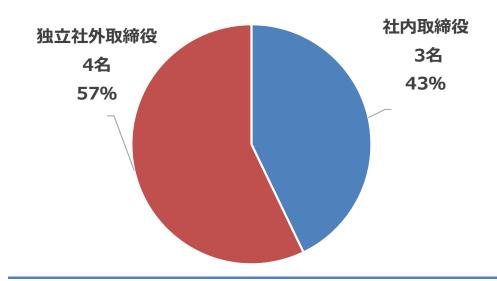


## トピックス④: コーポレート・ガバナンスの強化

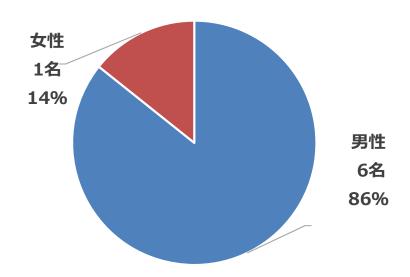
#### ◆指名報酬委員会の設置

- 独立社外取締役4名と代表取締役1名で構成
- 取締役及び執行役員の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性の強化
- ◆取締役の構成:第5回定時株主総会終了後の役員構成(予定)

#### 社外取締役の割合



#### 女性取締役の割合

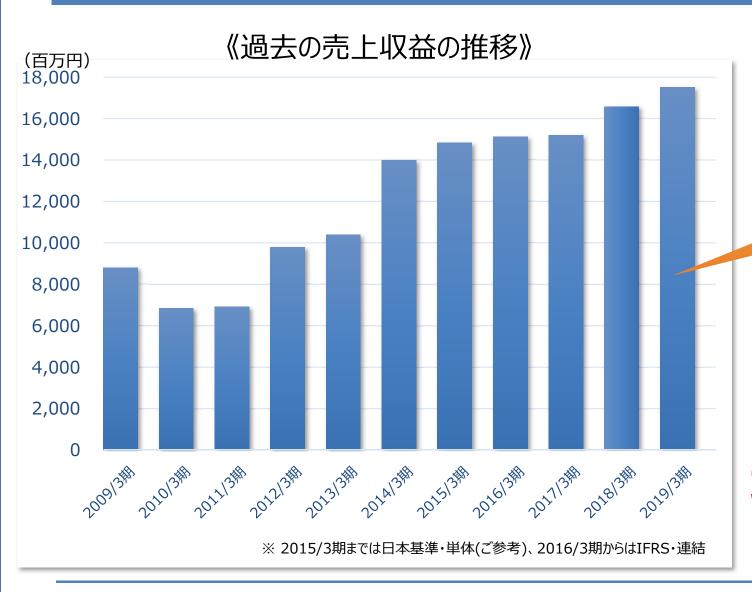


# 2019年3月期 決算ハイライト





#### 決算ハイライト①:過去最高の売上収益



売上収益 17,512<sub>百万円</sub> 前期比: 105.6%

9期連続の 売上収益増 最高額を更新



### 決算ハイライト②: 仮設資材は概ね横ばい

#### 《仮設資材部門の売上収益》



#### <POINT>

● くさび緊結式足場の 需要が堅調 前期比 103.1%

相次ぐ自然災害からの復旧復興

安全措置機材の 安定的需要

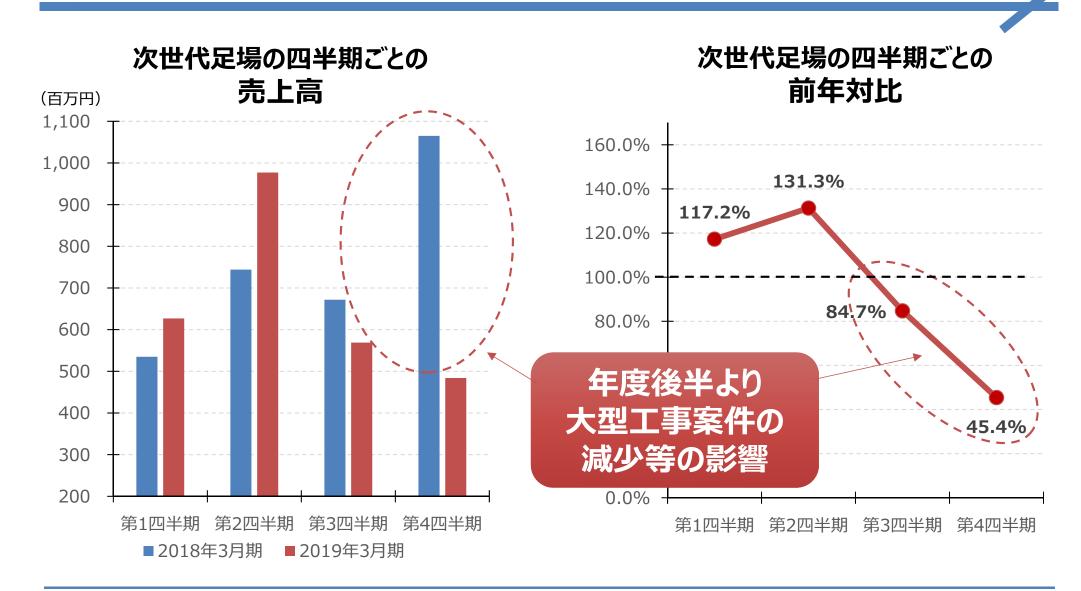
●次世代足場は安定的な ニーズ見られるも 年度後半より需要減少し

前期比88.1%

大型工事 案件の 減少



## 決算ハイライト③: 次世代足場の状況





## 決算ハイライト④:物流機器が収益を牽引

#### 《物流機器部門の売上収益》



### 液体搬送用 バルクコンテナケージの 需要が一段と高まる

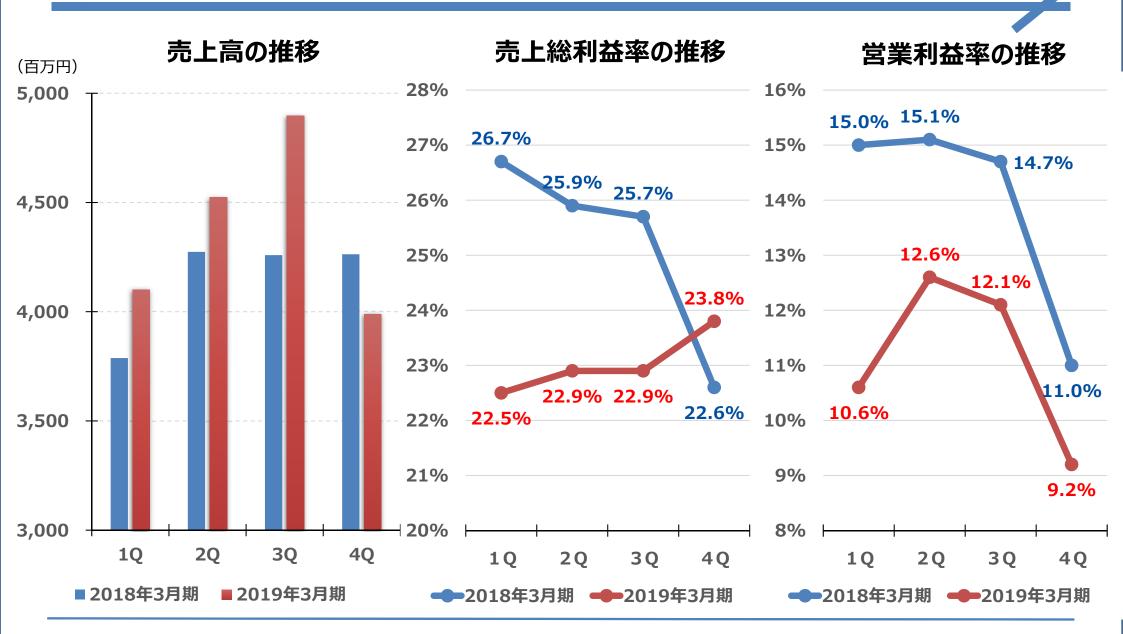
その他・・・

- LEDを用いた人工光型 植物工場用多段棚
- ■大手インターネット販売 会社向けラック

実績に支えられ、大型の 新規およびリピートオーダー 多数獲得

# 9

## 四半期ごとの業績推移





### (ご参考) 原料価格相場の推移



### 鋼材価格は 高水準で推移

#### <亜鉛と鉄の平均単価>

(平均、 円/Kg)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
亜鉛	305.6	386.7	353.7
鉄スクラップ	22.3	30.7	33.1

【資料】亜鉛相場:三井金属鉱業様ホームページ(www.mitsui-kinzoku.co.jp/aen/)より作成

鉄スクラップ相場:日本鉄リサイクル工業会ホームページより作成



### 2019年3月期 連結損益計算書の概要

(IFRS基準、百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	増減
売上収益	16,586	17,512	+926
売上原価	12,410	13,482	+1,072
売上総利益	4,175	4,030	△145
販管費及び 一般管理費など	1,868	2,066	+198
営業利益	2,306	1,963	△343
税引前利益	2,238	1,894	△344
当期利益	1,459	1,331	△128

鋼材等の 原材料価格の 高騰が継続

株式報酬費用等の 人件費の増加、及び 租税公課の増加

	2018/3期	2019/3期
売上 総利益率	25.2%	23.0%
営業 利益率	13.9%	11.2%

# 2020年3月期 業績見通し





## 2020年3月期 業績見通し

(IFRS基準、百万円)	2019年 3月期	2020年 3月期 <b>予想</b>	増 減	
売上収益	17,512 17,00		△512	
営業利益	1,963	1,963 2,060		
税引前利益	1,894 1,99		+96	
当期利益	1,331	1,400	+69	
EPS (円)	96.44	100.08		
1株当り年間 配当金(円)	44.00	44.00		
配当性向	45.6%	44.0%		

前年の 販売価格の 見直し効果が 通期に寄与



## 2020年3月期見通し 上下のバランス

IFRS (百万円・%)	2019/3期 上半期	2020/3期 上半期見通し	前年 同期比	2019/3 下半期	2020/3 下半期見通し	前年 同期比
売上収益	8,624	8,880	103.0%	8,888	8,120	91.4%
営業利益	1,004	1,130	112.5%	959	930	96.9%
営業利益率	11.6%	12.7%	+1.1pt	10.8%	11.5%	+0.7pt
当期利益	627	770	122.7%	704	630	89.5%



・上期は消費増税の駆け込み需要

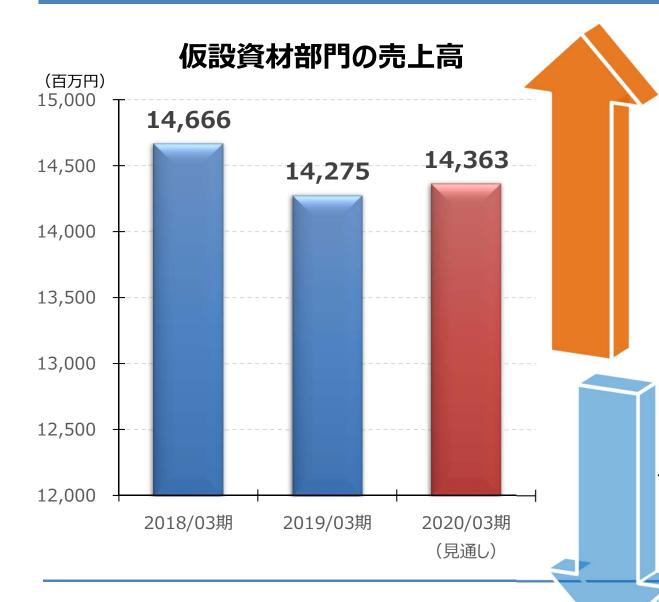


- ・下期は駆け込み需要の反動減
- ・大型工事案件の減少

#### 需要予測・業績見通しが難しい局面に…



### 仮設資材部門の業績見通し



#### <プラス要因>

#### くさび緊結式足場

- ・リフォーム需要の拡大
- ・インフラの維持修繕工事の需要の増加

#### 次世代足場

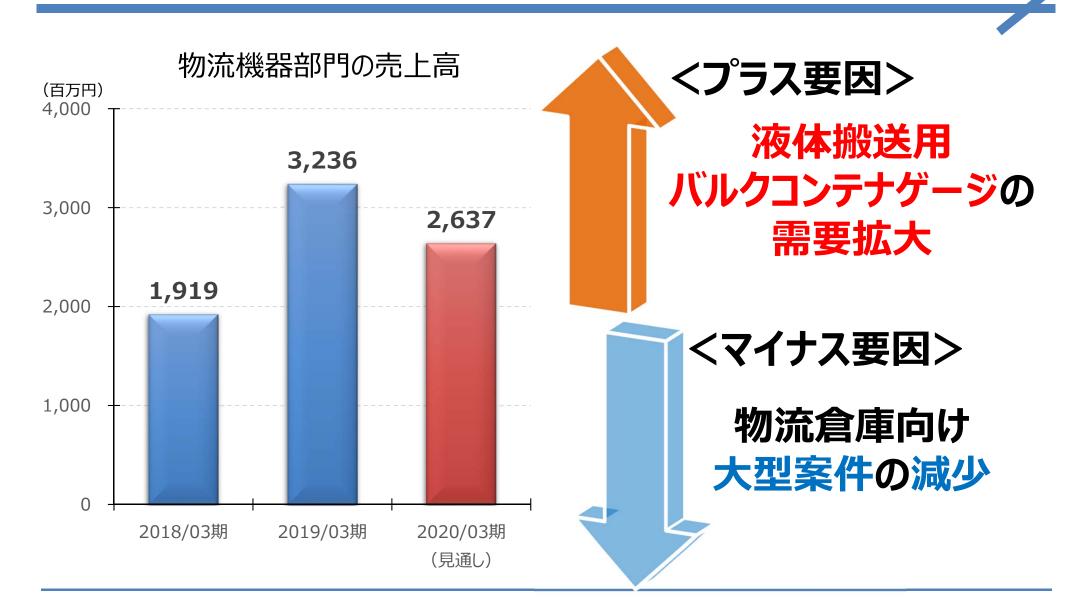
人手不足を背景に、より生産性・ 安全性が求められ、枠組み足場から 次世代足場への切り替えが進む

#### <マイナス要因>

- ・消費税増税の反動減
- ・大型工事案件の減少



### 物流機器部門の業績見通し





当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な課題の1つとして位置付けております

配当方針

目標 配当性向 40%以上

2020年3月期の予定

2020年3月末の株主様に対し、期末配当金

1株につき44円 円 配当性向44.0%

#### 内部留保資金の使途





## ディスクレーマー

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせくださいませ。

#### 《お問い合わせ先》

信和株式会社:岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部署:経営企画部

担当:丹羽•青木

Tel: 0584-66-4436

e-mail: ir@shinwa-jp.com